



☆中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します☆

## 地域の伝統を子どもたちへ（婦人会の取組）

### 津野町婦人会の思い

地域のおばちゃんたちと一緒に料理を作って食べたことを覚えていてほしいです。進学をきっかけに地元を離れても、ふと「小学校や中学校で、地域の伝統について学んだな」と思い出し、地元に戻ってみようかなとか、一緒に作った料理を家でも作ってみようかなとか、思ってくれるそんなきっかけになるとうれしいです。

### 東津野中学校の思い

総合的な学習の時間に、3年間を通して地域の伝統芸能「津野山神楽」についての学習を深めています。歴史的な背景や神祭のことを調べています。そして、3年生で津野山神楽を舞います。地域の方と関わりながら地元の事について学び、より故郷に誇りをもつことができるように取り組んでいます。

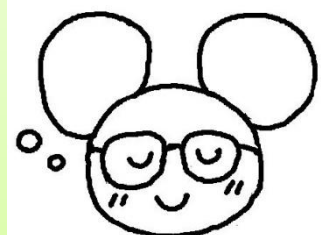
### 共通の思い

津野町婦人会と学校とで連携を！  
地域の伝統を子どもたちに継承を！

津野町婦人会のみなさんが、生徒たちに故郷の味を伝えようとしている取組を紹介します。



津野町婦人会  
のみなさん



## 津野町伝統の 皿鉢料理づくり

2年生と一緒に皿鉢料理作りを行いました。  
いたどりやりゅうきゅう、里芋にぜんまい、  
米ナスなど地域で採れるものをふんだんに  
使いました。葉蘭も生徒が切って作りました。



葉蘭は飾りとして使います。殺菌作用があります。家の庭に植えて、いつでも使えるようにしてる家庭もあるそうです。



地域の特産、米ナスを使って、「米ナスのたたき」も作りました。

おしょうゆで味付けをするよ。おばちゃんらは、目分量でやるけど、今日は計ってやるよ。味もみながらね。

お米の収穫の時期になると、近所の方が集まって一緒に稲刈りをします。秋のお神祭では、今年の豊作を神様に感謝し、今年とれた米や野菜を使った料理を、皿鉢料理に盛り付けてみんなに振舞い、その地域ならではの味を楽しみます。

### 【生徒の感想】

- ・「さば寿司は真ん中におき、頭の方に酢の物を置くことがわかった。」
- ・「色どりを考えて、黒いもの（のりまき）の横には明るいもの（たまご寿司など）置くことが分かった。」
- ・「真ん中が高くなるように置くことがわかった。」
- ・「こんにゃくの飾り切りは真ん中を切って作ることが分かった。」
- ・おすしを切ったり飾り付けをするには、意味があることが分かった。

### 【津野町婦人会より】

旧東津野村が、昔から作っていたものを一緒に作ることができてよかったです。昔と比べると女性も外で働くようになり、料理に時間をかけることが難しくなってきました。おふくろの味・故郷の味と聞いてみなさんは、どんな料理を想像しますか？

今日、故郷の味を堪能したことを何かのきっかけで思い出してくれたらうれしいですと語ってくれました。

それぞれの市町村（学校組合）で婦人会（女性の会）や様々な社会教育団体の活動が行われていると思います。ぜひ、取組を紹介させていただきたいので、気軽に中部教育事務所までご連絡をお願いいたします。

担当：野村（088-893-6166）